

ICT x 学び アンケートのご紹介



目次

- 1) 会社概要
- 2) サービスリリースの背景
- 3) サービス概要
- 4) 本サービスの独自性と利点
- 5) パッケージとオプションのご紹介
- 6) サービス提供のステップ
- 7) 利用者の声
- 8) お問い合わせ窓口

株式会社エデュテクノロジー

会社概要

創業:2014年

本社:東京都江東区

事業内容

ICT導入コンサルティング

教員研修

企業向け支援

ミッション “Story Your Learning”

私たちは「次世代の学び」を探求して、教育現場のICT化を進めてきました。約15年前より“1人1台”デバイス時代を見据えて、大きく変革する教育の在り方をお客様と論じてきました。

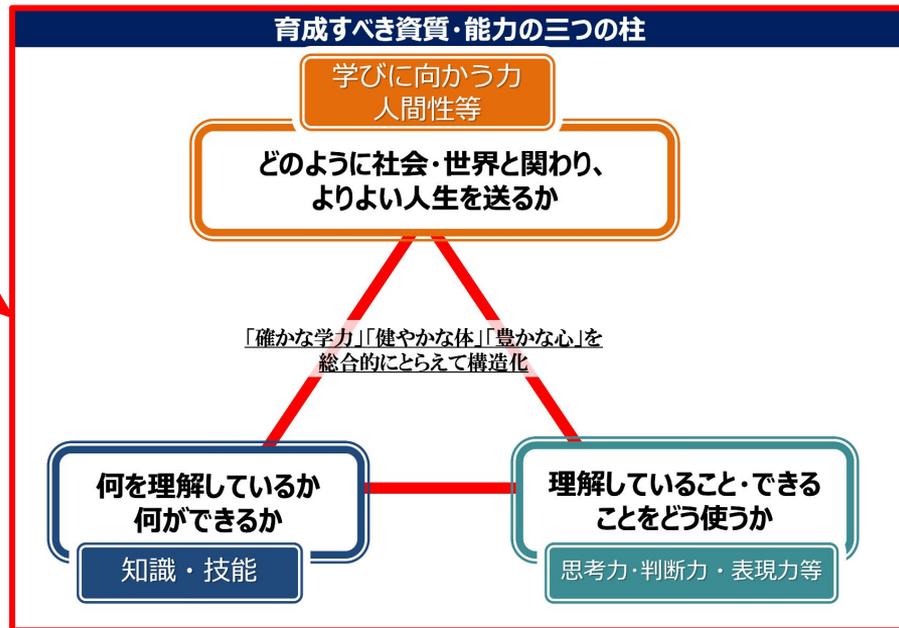
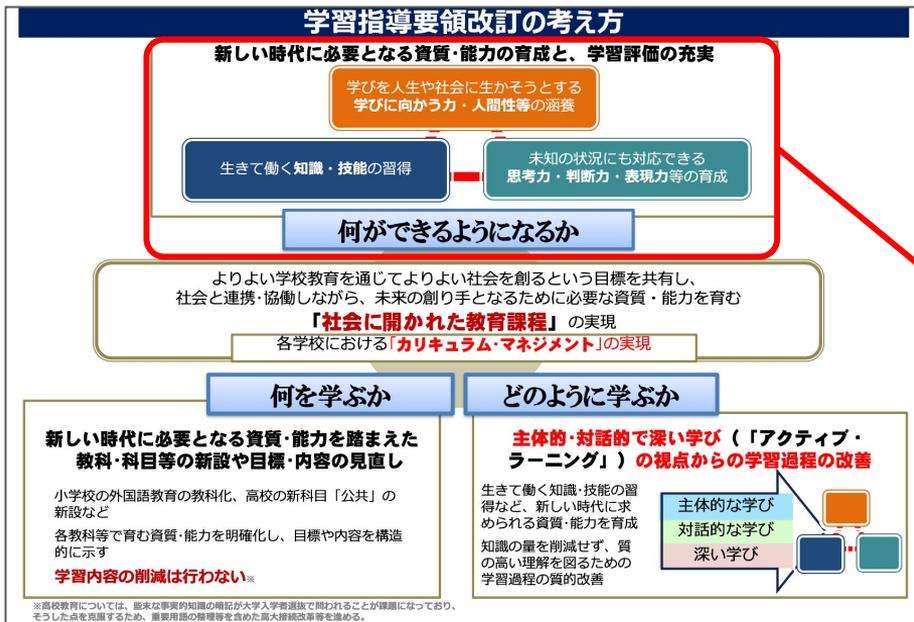
子供たちが意欲を持って主体的に物事を考えていく、教師は想像力や発想力など子供たちそれぞれの可能性を引き出していく。

そのゴールに向かって、経験とノウハウを活かし、お客様と共に夢の実現に取り組んでいきます。

背景①：めざす資質能力の変化

令和2年度から順次全面実施されていく新学習指導要領において、一つの柱になっているのが「思考力・判断力・表現力」の育成です。

自ら考え、判断し表現する活動を通して、「何ができるようになるか：理解していること・できることをどう使うか」という「学び」が求められます。



背景②：GIGAスクール構想による端末1人1台環境が実現

中央教育審議会（2021）「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（答申）によると、「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びを実現するためには、**学校教育の基盤的なツールとして、ICTは必要不可欠なものである。**」とあります。

GIGAスクール構想において、端末一人一台が実現されます。今後は端末を正しく活用するスキルに加え、端末を活用した「**問題解決・探究における情報を活用する力**」をはじめとした「**思考力**」、「**表現力**」、「**情報活用能力**」の育成がますます必要になってきます。



体系的な整理
1

情報活用能力の要素の例示

情報活用能力をより具体的に捉えていくことを目指すとともに、教科等横断的な視点で育んでいくことができるよう、情報活用能力の要素を例示しています。

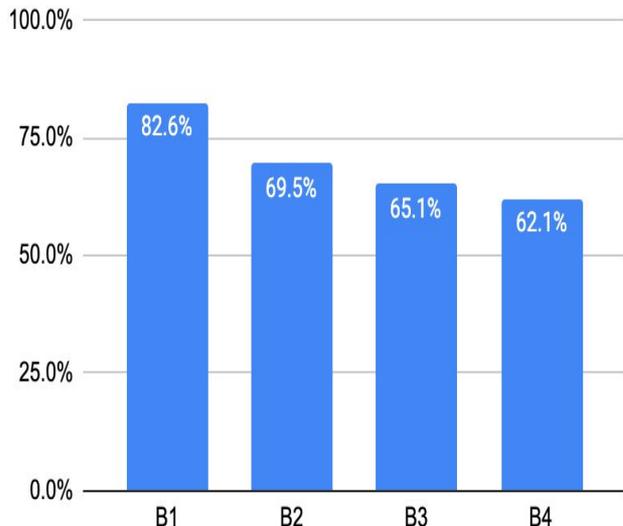
分類		
A. 知識及び技能	1 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能	①情報技術に関する技能 ②情報と情報技術の特性の理解 ③記号の組合せ方の理解
	2 問題解決・探究における情報活用の方法の理解	①情報収集、整理、分析、表現、発信の理解 ②情報活用の計画や評価・改善のための理論や方法の理解
	3 情報モラル・情報セキュリティなどについての理解	①情報技術の役割・影響の理解 ②情報モラル・情報セキュリティの理解
B. 思考力、判断力、表現力等	問題解決・探究における情報を活用する力（プログラミング的思考・情報モラル・情報セキュリティを含む）	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用し、問題を発見・解決し、自分の考えを形成していく力 ①必要な情報を収集、整理、分析、表現する力 ②新たな意味や価値を創造する力 ③受け手の状況を踏まえて発信する力 ④自らの情報活用を評価・改善する力 等
C. 学びに向かう力、人間性等	1 問題解決・探究における情報活用の態度	①多角的に情報を検討しようとする態度 ②試行錯誤し、計画や改善しようとする態度
	2 情報モラル・情報セキュリティなどについての態度	①責任をもって適切に情報をおおうとする態度 ②情報社会に参画しようとする態度

背景③：端末活用に関するハードル

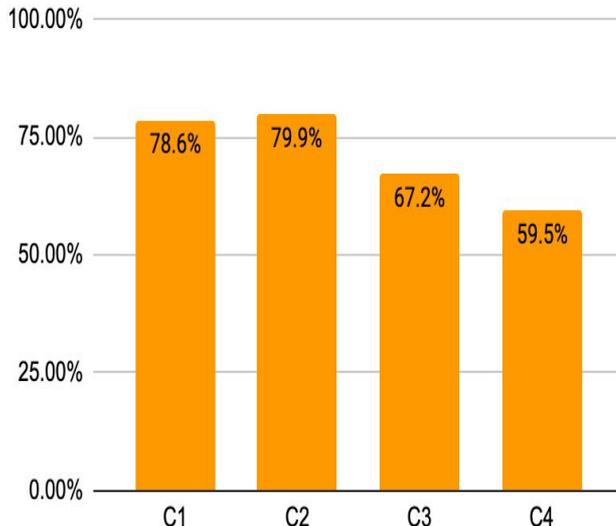
GIGAスクール構想で端末整備が完了した自治体や学校が次にぶつかっている問題が、「どのように端末を活用をしていくか」ということだと思われます。実際に、「端末が入ったはいいが、どう使ったらいいのかわからない。」という声もよく耳にします。

文部科学省(2020)の調査によると、教員が「授業にICTを活用して指導する能力」に関しては、資料の提示などに関する数値は高いものの、知識の定着や技能の習熟など、**高度な活用になるにつれて数値が減少する傾向がみられます**。また、「児童生徒のICT活用を指導する能力」に関しては、基本操作や情報収集の項目に関しては80%近く指導ができると答えているものの、より高度な活用に関する指導については肯定的な回答が少なく、**ICTを活用した考えの共有や話し合いに関する項目への肯定的な回答は60%をきっています**。

B 授業にICTを活用して指導する能力



C 児童生徒のICT活用を指導する能力



パーセンテージは、いずれも（指導が）「できる」「ややできる」と回答した割合を足したもの

B1	児童生徒の興味・関心を高めたり、課題を明確につかませたり、学習内容を的確にまとめさせたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。
B2	児童生徒に互いの意見・考え方・作品などを共有させたり、比較検討させたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して児童生徒の意見などを効果的に提示する。
B3	知識の定着や技能の習熟をねらいとして、学習用ソフトウェアなどを活用して、繰り返し学習する課題や児童生徒一人一人の理解・習熟の程度に応じた課題などに取り組ませる。
B4	グループで話し合ったり考えをまとめたり、協働してレポート・資料・作品などを制作したりするなどの学習の際に、コンピュータやソフトウェアなどを効果的に活用させる。
C1	学習活動に必要な、コンピュータなどの基本的な操作技能（文字入力やファイル操作など）を児童生徒が身に付けることができるように指導する。
C2	児童生徒がコンピュータやインターネットなどを活用して、情報を収集したり、目的に応じた情報や信頼できる情報を選択したりできるように指導する。
C3	児童生徒がワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトなどを活用して、調べたことや自分の考えを整理したり、文章・表・グラフ・図などに分かりやすくまとめたりすることができるように指導する。
C4	児童生徒が互いの考えを交換し共有して話し合いなどができるように、コンピュータやソフトウェアなどを活用することを指導する。

令和元年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果（概要）（令和2年3月現在）をもとにデータを抜粋してグラフを作成

https://www.mext.go.jp/content/20201026-mxt_jogai01-00009573_1.pdf

授業は変わっていく。しかしそれが正しい変化かを判断することは難しい



サービス概要



アンケートに回答

調査期間の変容をオンラインアンケートを使って各自回答するよう指導していただくだけ！



専門家が分析

分析の専門家が全体の傾向や質問ごとの導入成果の違いを洗い出し、子どもたち自身も気づかなかった教育効果を見出します。



レポート化

結果レポートは、コンサルタントが解説（オプション）とともにお渡しします。教員間で共有し相互協力いただくことも可能です。

本サービスでは、これまで見える化しづらかった『思考力』や『表現力』の『変容』を明らかにします！

多忙な状況が日常的に続く中、児童生徒の成長を見とる術は限られています。成長をデータとして可視化することで、授業デザインや学校としての共通課題を明確にすることもできます。

1. 思考力・表現力を伸ばす授業改善に意識が向く

1人1台端末の導入により、授業の形態が大きく変化することで

- 結局のところ、1人1台端末を何に使えばわからない
- 学校として、1人1台端末で何をめざすのか
- 1人1台端末の活用を通してどんな力をつけさせたいのか

などの疑問が現場に出てきます。

「1人1台端末を活用した、思考力・表現力の育成」を土台とした 目的共有にお役立ていただけます

全39問の質問からなる「ICT×学び アンケート」は、それぞれの項目が学習指導要領に基づいた思考力や表現力などの記述を基に作られています※。質問項目をご覧ください、思考力・表現力の中でもとりわけ「どんな力をつけさせたいか？」という話し合いの題材として使っています。

7. 根拠や規則性をもとに自分の考えを予想することができる

- よくできる
- 少しできる
- あまりできない
- まったくできない

アンケートのイメージ

2. 効果的な1人1台端末の活用好事例が誕生する

わかりやすい活用効果が含まれる実践事例が不足している…

- 生徒の成長を評価するために何を使えばいいの？
- うちの学校の取り組みって正しいの？
- これまでと違う指導方法に切り替えるのが怖い
- 学校内外ともに、導入効果を証明したい

などの疑問が経営的な視点で出てきます。

思考力・表現力がどのように変化したか？を可視化できるため、取り組みの成否を確認したり改善するポイントがわかります

テストで評価できる「知識・技能」とは違い、「思考力・表現力」は、見えにくい学力です。「ICT×学び アンケート」は、そうした見えにくい学力を可視化し、児童・生徒、教員へのフィードバックができる評価ツールとなっております。

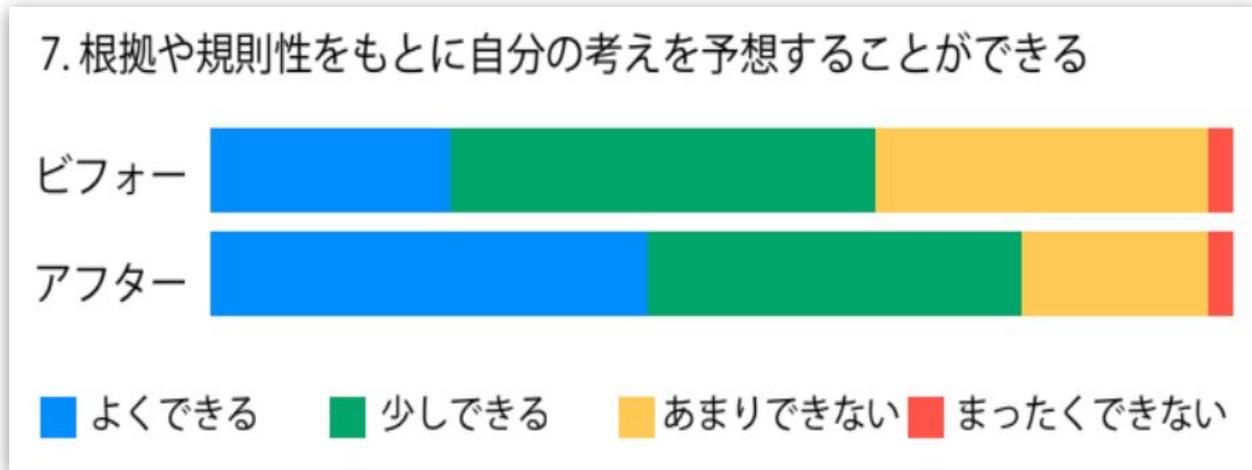
そのため、活用事例を収集する際にも、焦点を当てて取り組んだ活動が思考力・表現力と本当に結びついたのかを客観的に確認できるため、好事例の蓄積に役立ちます。

1人1台端末の目的を定め、それを定量的に効果検証することで、エビデンスとしてアンケート結果を利用できるようになり、自治体や学校の目的に沿った実践を広く根付かせる助けになります。

7. 根拠や規則性をもとに自分の考えを予想することができる



分析ソフトウェア: IBM 社ソフト SPSS を使用し、データ分析の専門家が全体の傾向や質問ごとの導入成果の違いを洗い出し分かりやすく表やグラフに。成長している点や今後の課題が見える化されます。



分析レポートの一部

3. 教員の指導力・授業力が向上する

このアンケートを活用することにより、次のようなプロセスで教育活動をブラッシュアップしていくことができます。

1. 授業のポイントが明確になり、授業改善に役立つ
2. 視点を定めた、エビデンスに基づいた好事例の誕生・収集
3. 1、2のプロセスを自治体・学校全体に還元しやすくなる

上記のサイクルを回すための土台にお使いいただけます。

オプションサービスとして上記1~3のプロセスを一緒につくるお手伝いもできます。

パッケージとオプションのご紹介

標準パッケージ

- アンケート作成／アンケート回答 URLのご提供
- 回答結果の分析／レポート（小学校、中学校単位）としてご提出

* 年3回のアンケート回答を推奨、レポートは最後にまとめて納品

- 1校から50校 / 1年 (ET-KEN-STD-1-50)
- 51校から100校 / 1年 (ET-KEN-STD-51-100)
- 101校以上 / 1年 (ET-KEN-STD-100-)

- * 契約年の最後のレポート提出時のタイミングでの請求処理
- * サービス開始前に販売店様、ユーザー様との打ち合わせ必須
- * 小中学校対象、高校版については2021年度中にサービス開始予定

パッケージとオプションのご紹介

オプション

・考察パッケージ

推進リーダー・エバンジェリスト育成事業との組み合わせ

想定:年間3回の実践共有を主とした推進リーダー育成の研修講座が予定されている
育成対象の推進リーダー・エバンジェリスト公開授業や実践研究に関する研修に参加させていただき、追加の負担なく状況把握を行います

- 1校から50校 / 1年 (ET-KEN-OP-KOU-1-50)

- ・研修講座への参加および授業者の実践を把握
- ・研修講座の実施前後に定例会を実施し、状況把握を行う(計3回)

- * 発注後の申込内容確認書納品タイミングでの請求処理
- * 標準パッケージ「ET-KEN-STD-1-50」と同時購入必要
- * 考察対象の範囲は、公開授業を実践した推進リーダー(3名想定)が受け持っている生徒とします
- * 参加方法は基本オンライン参加(現地参加をご希望される場合は、別途旅費交通費必要)
- * 51校以上の場合での考察パッケージ要望時をご相談下さい

パッケージとオプションのご紹介

オプション

- クラス単位でのレポート
- 作成コンサルティング

★別料金となりますのでご相談下さい

パッケージとオプションのご紹介

オプション

・教員研修

アンケートを活用した「資質能力の変容」を促すための研修パッケージ

- **理論・実践 土台編（簡易版 60分バージョン）**（ET-KEN-OP-KEN-1）
 - 「学習を支援するための評価」という考え方の土台を整理する
 - **理論・実践 入門編（90分 × 3日間バージョン）**（ET-KEN-OP-KEN-2）
 - 自律的な学習者を育てるための評価理論を理解し、教師の役割を考える
 - **理論・実践 行動編（合宿2日間 フルバージョン）**（ET-KEN-OP-KEN-3）
 - 評価理論を教室での具体的な実践に結びつけ、生徒の学習の改善を目指す
- * 全ての研修終了タイミングでの請求処理
* サービス開始前に販売店様、ユーザー様との打ち合わせ必須
* 小中学校対象、高校版については2021年度中にサービス開始予定
* 研修パッケージは基本的にオンラインでの実施となります
現地実施希望時はこちらにご相談下さい、現地実施時は別途交通費宿泊費を頂くこととなります

パッケージとオプションのご紹介

オプション

・教員研修

研修パッケージの目的

アンケートで確認された「資質能力の変容」を
より日常の授業に活かすための研修パッケージ

- ・本研修パッケージは、これからの時代に求められる資質や能力を評価を実現する上で必要な知識とスキルを、評価の専門家による講義とワークショップを通じて身につけていただくことを目的としています。
- ・新学習指導要領では、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3観点から児童・生徒の学習を評価し、指導や学習の改善につなげることの必要性が強調されています。しかし、特に「知識・技能」以外の資質・能力は、既存のペーパーテストを中心とした評価では見とることが難しく、どのように評価すれば良いのかに悩む先生方は少なくありません。
- ・ICT活用により、児童・生徒の学習活動はより豊かなものとなります。例えば、テーマに基づき調べた内容をスライドにまとめて発表したり、動画にまとめたりするという活動を行うにあたり、生徒の学習をどのように評価すれば良いのでしょうか？本研修では、このような学習活動を評価する上で土台となる考え方と評価理論を学び、ご実践に活かしていただくことを狙いとしています。

パッケージとオプションのご紹介

オプション

・教員研修

理論・実践 1-土台編（簡易版 60分バージョン）

- テーマ：「学習を支援するための評価」という考え方の土台を整理する
 - ・「評価」の目的を再考
 - ・診断的・形成的・総括的評価の違い
 - ・発達型の学習モデル
- 使用アプリ：Googleスライド、mentimeter
- 定員：100名（定員を超える場合は別途ご相談ください）
- 費用には担当者との事前打ち合わせ、PDF資料の共有を含みます。

パッケージとオプションのご紹介

オプション

・教員研修

理論・実践 2-入門編 (90分 × 3日間バージョン)

- テーマ：自律的な学習者を育てるための評価理論を理解し、教師の役割を考える
 - ・1日目：土台編の内容・教師の評価観の振り返り
 - ・2日目：学習目標の明確化・ルーブリック作成ワークショップ (Short ver.)
 - ・3日目：学習者の自律性を育てる活動の理解
- 使用アプリ：Googleスライド、Googleドキュメント、mentimeter
- 定員：50名 (定員を超える場合は別途ご相談ください)
- 費用には担当者との事前打ち合わせ、PDF資料の共有を含みます。

パッケージとオプションのご紹介

オプション

・教員研修

理論・実践 3-行動編（合宿2日間 フルバージョン）

- テーマ：評価理論を教室での具体的な実践に結びつけ、生徒の学習の改善を目指す
 - ・1日目AM：評価理論の理解・教師の評価観の振り返り
 - ・1日目PM：学習目標の明確化・ループリック作成ワークショップ（Long ver.）
 - ・2日目AM：ループリックの活用ワークショップ・フィードバック理論の理解
 - ・2日目PM：フィードバックワークショップ・学習者の自律性を育てる活動の理解
- 使用アプリ：Googleスライド、Googleドキュメント、mentimeter
- 定員：30名（定員を超える場合は別途ご相談ください）
- 費用には担当者との事前打ち合わせ、PDF資料の共有を含みます。

パッケージとオプションのご紹介

オプション

・教員研修

講師紹介

名前： 高木 俊輔（たかぎ しゅんすけ）

メルボルン大学教育学大学院修士課程教育評価専攻修了

研究内容： 日本の都市部の高校における形成的評価の効果的な活用

教員歴： 2006. 4. ～2019. 3. 鎌倉学園中学校高等学校 英語科教諭
2019. 4. ～2019. 7. 聖光学院中学校高等学校 英語科講師



パッケージとオプションのご紹介

オプション

・教員研修

参加者側で事前準備が必要なこと

- ご用意いただくもの
 - ・スクリーン、プロジェクター、スピーカー
 - ・インターネット環境
 - ・PC/Chromebookまたはタブレット（1人1台）
 - 「理論・実践 3-行動編」につきましては、共有ドキュメントの編集を伴いますので、PCまたはChromebookでのご参加をお願いいたします。
 - ・会場での運営補助（1名：参加者の方々のデバイス使用補助をお願いいたします）
 - ・テーブルレイアウト（可能であれば3～4人1組での着席をお願いいたします）

サービス提供のステップ

STEP 1



アンケートに回答

調査期間の変容をオンラインアンケートを使って各自回答するよう指導していただくだけ！

STEP 2



専門家が分析

分析の専門家が全体の傾向や質問ごとの導入成果の違いを洗い出し、子どもたち自身も気づかなかった教育効果を見出します。

STEP 3



レポート化

結果レポートは、コンサルタントが解説（オプション）とともにお渡しします。教員間で共有し相互協力いただくことも可能です。

お申し込みからアンケート実施の流れ



お申し込み

まずはメール、もしくはお電話でご相談ください。お申し込みフォームをお送りいたします。

初回打ち合わせ

お申し込み内容に合わせて、サービスの紹介や契約の詳細について確認いたします。

ご契約の成立

お打ち合わせ内容に基づき契約書等を作成し、送付させていただきます。

事前打ち合わせ

アンケート実施にあたり、事前に必要事項やご不明点を確認いたします。

回答開始

アンケートフォームをお送り致します。1回目の回答を開始して下さい。



利用者の声

『成長のエビデンス、学習目標の明確化につながった』

アンケートの実施によって次の2点が期待できると感じました。

1つ目は、**数値化しにくい子どもたちの育ちについて、一定のエビデンスを得ることができること。**

2つ目は、アンケート内容を先生や子どもたちに意識してもらうことで、先生には「こんな力をつけるには、どのような授業をしたらいいのか」と**授業について考えてもらう機会**になり、子どもたちには「こんなことを頑張ったらいいのだな・こんな力がつくようにしたらいいのだな」と**教科横断的に**つきたい資質能力について、**ねらいを意識して学習に臨みやすい**ことから、授業毎のねらいや振り返りと、同じような学習効果が期待できることです。





利用者の声

『子どもたちの成長の実感につながった』

自分自身がねらいとしていた項目が高くなっていたので嬉しく思っています。生徒の振り返りの言葉と、アンケート結果のデータが合致することで自信につながりました。

淡路市立中学校 教諭より



お問い合わせ窓口

ダイワボウ情報システム株式会社
担当営業までご相談下さい